

# 事業報告

## 平成29年度 教育事業 信州高遠ボランティア養成研修

平成29年5月20日（土）～21日（日）

【対象】高校生・大学生・社会人

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

国立信州高遠青少年自然の家の自然環境を活かした様々な体験活動や学習を通して、青少年教育施設における子供たちの体験活動を支えるボランティアとしての必要な知識・技術 について研修する。

### ～主催・後援・協力団体～

主 催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後 援：長野県教育委員会

協力団体：国立大学法人信州大学 国立大学法人上越教育大学

### ～活動日程～

20日（土）		21日（日）	
9:30～	受付	9:00～	(5) 安全管理の基礎知識・技術 (3h)
10:00～	開講式・アイスブレイク		
10:30～	(1) 青少年教育施設の現状と運営 (1h)		
	青少年教育施設におけるボランティア活動 (0.5h)		
12:00～	荷物移動・昼食	12:00～	昼食
13:00～	(2) 青少年教育の理解 (1.5h)	13:00～	(6) ボランティア活動の意義 (1.5h)
		14:45～	(7) 青少年教育施設におけるボランティア活動 (0.5h)
15:00～	(3) ボランティア活動の技術 (4h)	15:15～	閉講式・解散
19:00～	(4) 青少年教育施設におけるボランティア活動 (1h)		
20:30～	入浴・就寝準備		

### ～参加者～

高校生：1名、大学生：40名 計：41名

（長野県、新潟県、神奈川県、富山県）

### ～活動トピックス～

#### 講義Ⅰ「自然の家ってどんなところ？」

講師：信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター

青少年教育施設の教育機能や役割や運営、施設でのボランティア活動について理解を深めた。



#### 講義Ⅱ「子供たちの“今”を知ろう」

講師：川村学園女子大学 名誉教授 斎藤 哲瑯 氏

今日の青少年の現状を実体験や研究から講義いただき、現在の子どもたちを取り巻く状況やなぜ現代の子供達に体験活動が必要なのか、その重要性についてを学び、考える機会となった。

## 演習Ⅰ「野外調理の基本の“基”を学ぼう！！」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

体験活動の中で取り入れられることが多い、野外調理を実際に行った。基本的な道具の使い方や調理方法を学ぶだけでなく、実際に指導する際の方法や注意点を体験を通して学んだ。



## 講義Ⅲ「法人ボランティアって何するの？」

講師：信州高遠青少年自然の家 ボランティア

自然の家で活動する先輩ボランティアから、実際の活動や関わりの中でのエピソードなど、自然の家での活動について話を聞いた。

## 演習Ⅱ「安全に活動するために～救命救急法講習～」

講師：上伊那広域消防本部 職員

信州高遠青少年自然の家 職員（応急手当普及員）

緊急時に備えた心肺蘇生法、AEDの使い方について学ぶとともに、応急処置の方法について学んだ。受講者は万が一の時の場面に立ち、真剣に取り組んでいた。



## 講義Ⅳ「ボランティア活動の意義」

講師：日本ボランティア学習協会 常任理事 木村 清一 氏

社会貢献活動の意義やボランティア活動の定義などを学んだ。また、ボランティア活動における心構えやポイントについてお話があり、実際に活動を行う際の留意点等について理解を深めた。

## 講義Ⅴ「法人ボランティアになるには？」

講師：信州高遠青少年自然の家 ボランティア・コーディネーター

法人ボランティア登録制度について、登録の方法や活動を行う際の手続き等について理解を深めた。



### ～参加者の声～

- 今の子供たちの現状とその理由を知って、できるだけ子供たちの支えになれるようにしたいと思った。
- ボランティアとして活動するうえで知っておくべき知識や歴史などを詳しく聞き、よりボランティア活動の重要性を感じた。
- 法人ボランティアとして様々なことに挑戦したいと意欲がわいた。

### ～成果と課題～

- 講義では外部講師からの実践例や事例を交えての講義をいただき、受講者にとって今後の活動への意欲の高まりにつながるるとともに、理解を深める機会となったと感じる。また、先輩ボランティアからの講義を聞き、具体的な活動のイメージができたと感じる。
- 2日間を通して講義の時間が多くなってしまったため、カリキュラムの範囲内で、実習を取り入れるなどの検討が必要であると感じる。